



1923フォードモデルTTステークトラック



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	261,661
総生産量	2,090,959 (すべての車両)
馬力	20
重量	1,477ポンド/670キログラム
当時売価	\$490 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

傾斜式フロントガラス

新規、高効率ラジエータが年中頃に導入された
年内に新しいステアリングコラムブラケットを導入され
た

1922年と比べて、価格が \$15 USDアップ

さらに詳しい情報 (背景, ストーリー, 研究, など.)

フォードは1917年7月27日にトラック市場への参入を発表した。モデルTTは1トンの頑丈なウォームドライブシャーシを導入した。このトラックは乗用車と同じ20馬力エンジンを利用したが、低ギアリングを採用したから、最高スピードが18mphのみ。シャーシはアフターマーケットの車体を利用することができました。1924年からフォードは工場出荷する時に車体込みのトラックを提供開始。但し、アフターマーケットで廉価モデルTT向けの車体を継続的に提供している。このトラックのヒンジ付きドア及びガラス窓付きの比較的洗練されたキャブは、ミシガン州オーウォソーのフィールドボディカンパニーによって製造された。TTトラックシャーシは、1927年にモデルT生産の終わりまでほとんど変化がなかった。

この車はデボラ・グロムバラ、ルシンダ・ピクサリー、スーザン・ペインから、ピケットへの贈り物です。目的はマキシム・グレイ・ワーゲソンとアレックス・キャンベルを記念する。トラックはご提供方のお祖父より新購入され、ミシガン州のトラバースシティで貨物を運搬や郵便を配達するために使用されました。